

UIJターン拡大に向けた取り組みなど



はぐくみのそばに、里山じか

雪の日舎

Yuki no hi sha

A farm village makes the way of life and the culture.  
We want to make the sustainable society which we can hand joy to bring up.

## スノーデイズファーム株式会社とは

冬は多いときで4m近く雪の積もる豪雪地、新潟県十日町市で活動する農園です。

けれど、単なる農園ではありません。

私たちは農家だけでなく、異業種で個人事業主の「はぐくみのプロ」たちが集まり、会社自体が百姓のようになって取り組んでいます。

私たちの共通の思いは、

こどもをまんなかにした、しあわせなはぐくみのフィールドを農村につくることです。



農家

管理栄養士


農家

保育士

社会福祉士の卵

一級建築士





農家としての、現場の声  
移住女子としての、都市女性の声

農村自身の資源を生かした  
多様な仕事があり、農村に役割があった。

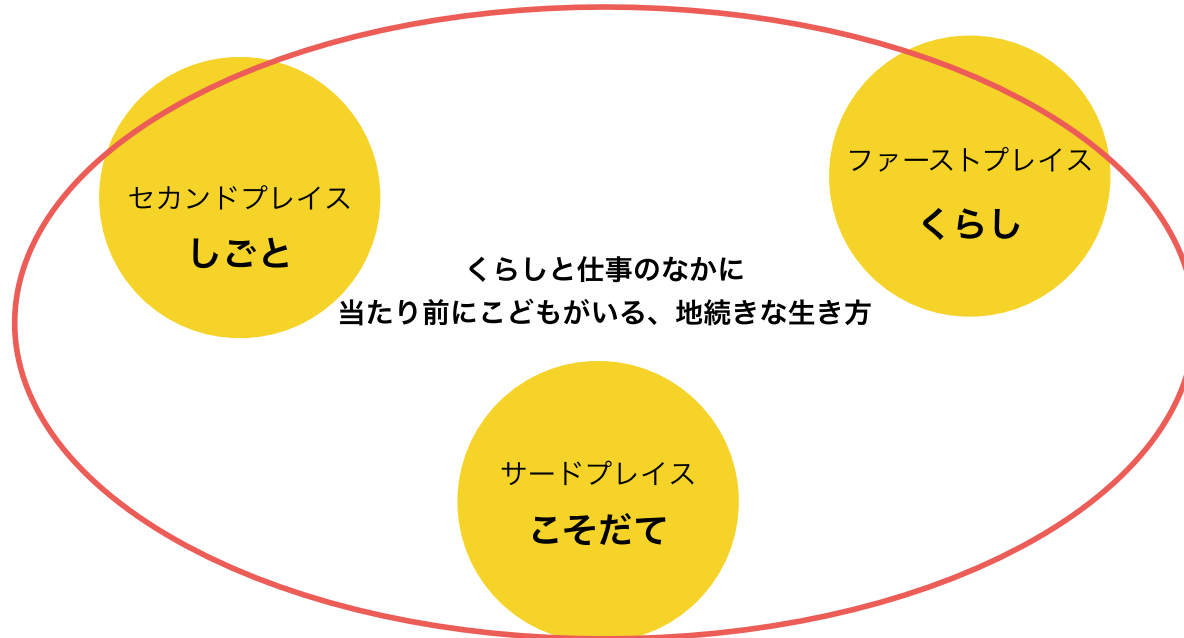
くらしのなかに  
仕事がある

1960' 高度経済成長

→農村から都市への人口と仕事が移行したことで起きたこと

**しごと、くらし、こそだての分断**

仮説  
ここがボトルネックでは？



# こども1人育てるには、むら1つ必要

「昔は保育園なんてなくて、むらが保育園のようなもんだった」



# 農業のもつ、「ひとをはぐくむ力」



# 農業 × 保育

農村・農業の土壤に、保育の幹を育てる



事業	内容	ねらい	実現したいこと
農業生産	水稻栽培 さつまいも栽培	自ら産み、学ぶ	中山間地域の農業維持
商品開発	干し芋 雪国こどもおやつ NORAGIなど	豪雪農業がうむ 哲学を形にする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域の農業維持 (契約栽培、作業委託、共同作業)</li> <li>・農家さんに生きがいサポート</li> <li>・こどもの感性をのばす</li> <li>・こどもがチャレンジしたくなる環境をつくる</li> </ul>
メディア運営	ECショップ運営 自社メディア	思いを届ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力を価値に</li> <li>・中山間地域の農業維持</li> <li>・農家さんの生きがいサポート (委託販売)</li> </ul>

私たちが変換してゆく商品たちは

- 1、必要とされ、価値を未来に繋げるものであること
- 2、その商品やサービスを通じて、未来の地域を生きるこどもたちを育てるものであること
- 3、同時に、彼らが育つ環境をつくるものであること



9軒の農家で栽培  
買い取り、  
加工・販売を実施。

農産物の栽培、加工、販売(ほしいも2013年～)



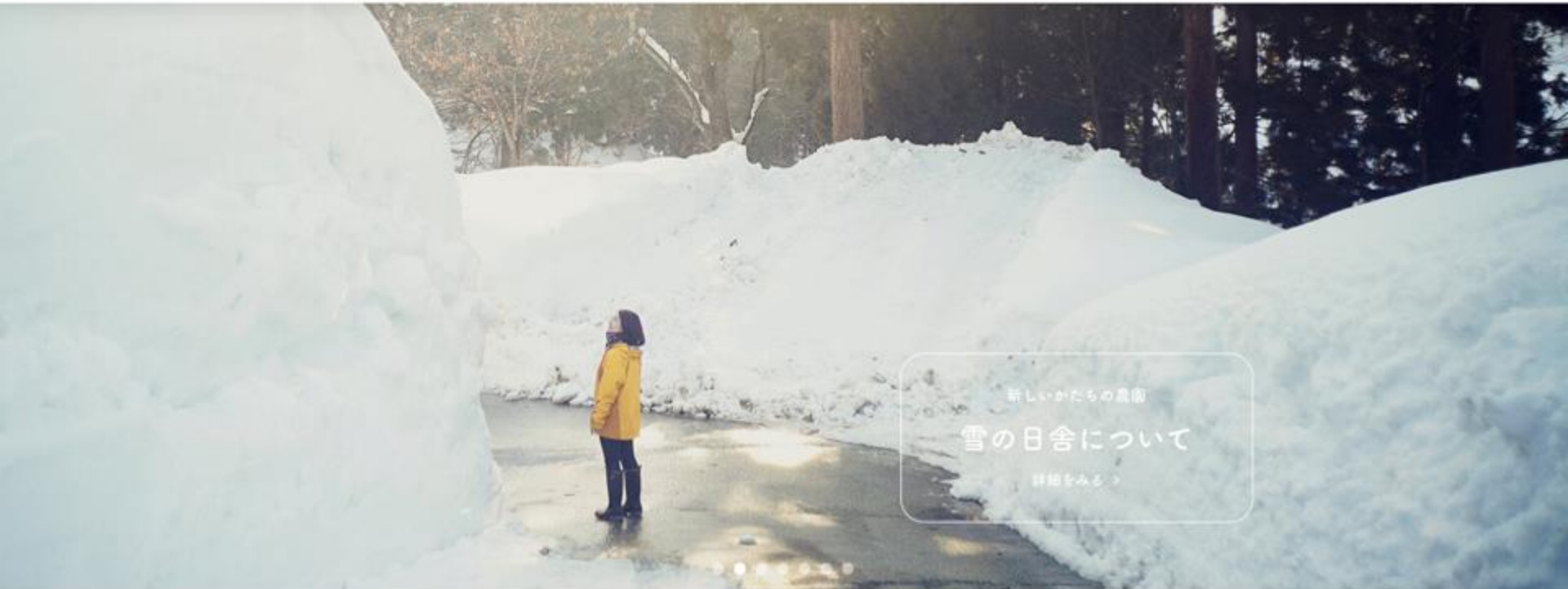


# はぐくむ背中を応援する、ネットショップ・webメディア運営

★ 雪の日舎について | 📖 よみもの | 🛒 おかひもの

雪の日舎  
YUKI NO HI SHI

✉ お問い合わせ | 👤 マイアカウント | 🛒 カートを見る



新しいかたちの農園

雪の日舎について

[詳細をみる](#)

おかひもの 🛒

- 🍚 お米
- 🍇 干し芋
- 🍡 こどもおやつ
- 🎁 ギフト
- 🍽️ 季節のたべもの
- 🌳 木
- 🧥 ウェア
- 🧰 ぐらしの道具



🛒 おかひもの

蜜ほしいも「しっとり甘い、越冬の定番おやつ」180g

NEW!



📖 よみもの

コラム | 【しめわせな子育てと、耕す日々】

雪の日舎のなかのひとたち。

- 干し芋
- こどもおやつ
- ギフト
- 季節のたべもの
- 本
- ウェア
- くらしの道具
- ゆきのひ設計室

## よみもの

- NEW 新着よみもの一覧
- ★ 特集一覧
- コラム一覧
- アーカイブ

おかいもの | よみもの

検索



★ どうつくる？しあわせなはぐくみ

## 第1話 保育士たちはなぜ里山へ向かうのか～移住した保育士たちの座談会

2018.02.12



雪の日舎が作りたいのは「こどもがまんなかの、しあわせなはぐくみのフィールド」

それって、具体的にどんなところ？

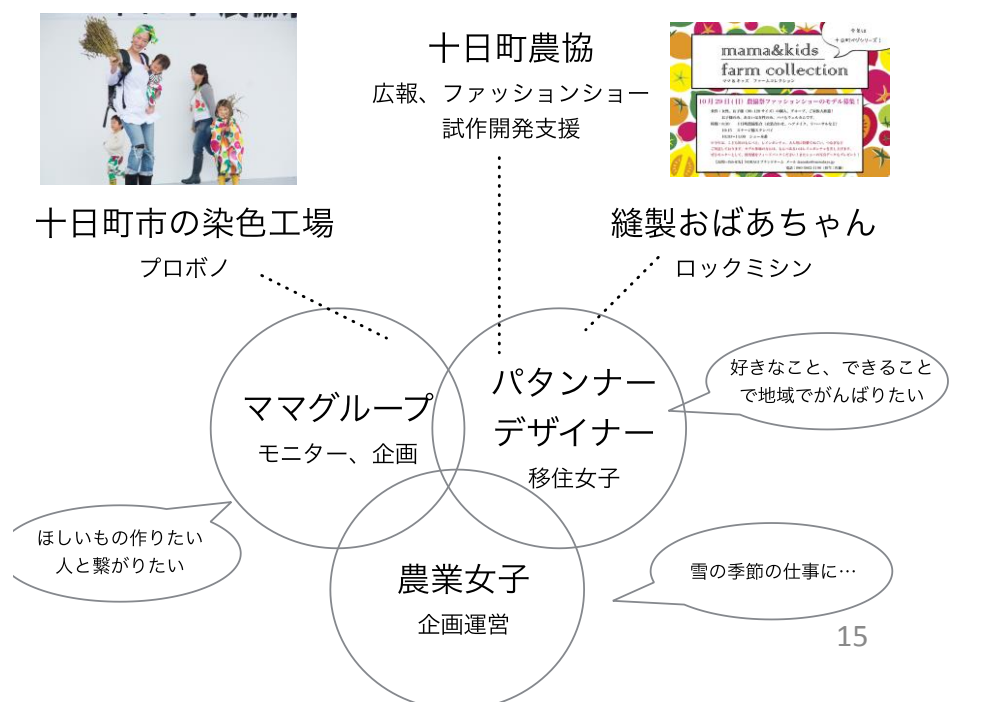
どんな条件があれば、こどもも大人もしあわせな子育てができるのだろう。

この雪深い里山だからこそ、できることって？

そう私たちが考えていくなかで、ふと気づいたことがあります。

それは、この雪深い里山に暮らす移住してくる人たちのなかには、保育士の仲間が

# キッズファームウェアの制作、販売、コミュニティ運営









そう思います！  
あと、生地の中の部分使ってもなんの野菜なのか分かるほうがいいと思うので。

2017年9月27日 18:01

撥水加工、出来るとかなり便利なものが出来そうですね！  
私も柄は少し小さめの方がいいと思います！  
かぐらなんばん、ぱっと見がお花柄みたいでかわいいですね♡

イメージが広がりますね(^-^)  
テキスタイル的には、みなさん言うように柄がもう少し小さめのほうがよいかも？  
ステージで見栄えするぐらいというもまた難しいですが、近くにいくとなんだか分かるというのも楽しいですね。

私も柄は小さい方が良くと思います(・∀・)人(・∀・)  
ところで撥水生地ってどんな肌触りですかね？  
私自身あんまり良い撥水生地を知らないってのもあり撥水生地=ゴワゴワってイメージがあるので、、(^-^)  
普段からモンペ履いて作業してるんですが、履いた時の履き心地がゴワゴワだと動きにくいのでガチ作業で使うことを考えると動きやすい・乾きやすい事が結構ポイントになるかなって。  
ヤッケやボンチョとか上に羽織るものが撥生地とかだとめっちゃ嬉しいです(・∀・)人(・∀・)

私も近くに行くとなんだかわかるくらいのさりげなさが好きです✪  
枝豆はリアルよりももう少しまるっこいというか、アニメチックな絵でもかわいいかもです✪  
もう遅いと思いますが、ゆーご(夕顔)とか、糸うりもかわいかったかもですね✪  
大人のもポケットほしいですね！  
ブレインさんの撥水の加工はゴワゴワではなく本当に普通の生地なのに水弾いてる！って驚きの加工でしたけど、これはどうなんですか！?  
小学生用もあつたら、毎年小学生ががっつり農活動するどころきさず学校の公式ノラギとしていいかもです✪上のTシャツは毎年作ってるので下をノラギに揃えとかできるかもです(^-^)

# 子育て中のママさんがほとんど

- ・一般的に行われる地域の会議 (=夜の会議)には出られない

- ・でも寝かしつけた後の21時以降はある程度オンライン

- ・まとまった時間はないが、スキマ時間はある



集まれるのは土日の午前、こども同伴  
日常の中にある女性のパワーはものすごい。

香川県出身→東京の大学へ(人道支援、紛争解決を勉強)





農業を通して、生き方を教えてくれたこと。若手へのバグアップと地域の覚悟。



頑張るのって、身軽に  
忘れ新しい村づくりの勢



大学を卒業後、移住・就農「農業を通じて、大切なものをつなぎたい」





- 1年目：村の人がつきっきりで教えてくれた農業（水稲、50種類以上の野菜）
- 2～3年目：農業研修（水稲、ナス、枝豆出荷）
- 4年目：個人事業主の農家「かなやんファーム」として独立
- 5年目：出産（水稲、さつまいもに絞る）
- 6年目：かなやんファームから雪の日舎へ名称変更、組織化のスタート
- 8年目：現在



中山間地域を支え、理解しあう  
仲間を増やしたい。

**特集**  
恋する夏  
高野山富村編

# 夏の稲恋物語

「1000年先の未来へ」山の「つくる」場、ひと、こと、ものがたり

**田んぼに恋する理由**

1. お米が美味しい！ 収穫は水100%で作るコシヒカリ！
2. 時間ごとに表情を変える風景にさやみさん。
3. 草花もかわいい！

5

移住女子発見！

ちゅくる  
**ChuClu**

TAKE FREE  
2014 番号

「1000年先の未来へ」山の「つくる」場、ひと、こと、ものがたり

**特集**

何度も味わいたい！感激の春



ムラに学ぶ、人に学ぶ、  
自分らしいライフスタイルを実現する。



2017.10.05 **NEW!**

イナカ人日記 イナカレヅジスタッフ

### 【イベントレポ】井口製材所半日ツアーを開催しました！

こんにちは！事務局の井上です。最近急に寒くなってきましたが、皆様体調を崩されてはいないですか。冬の気配しか感じられなくて、今からちょっと不安です（運転が）。さて、短期インタ

✉ お問い合わせ





十日町・津南ファーマーズチャーハン「農業×異業種」により若手見える化へ



# きっかけは、農業研修





先輩が見えると、次がつづく



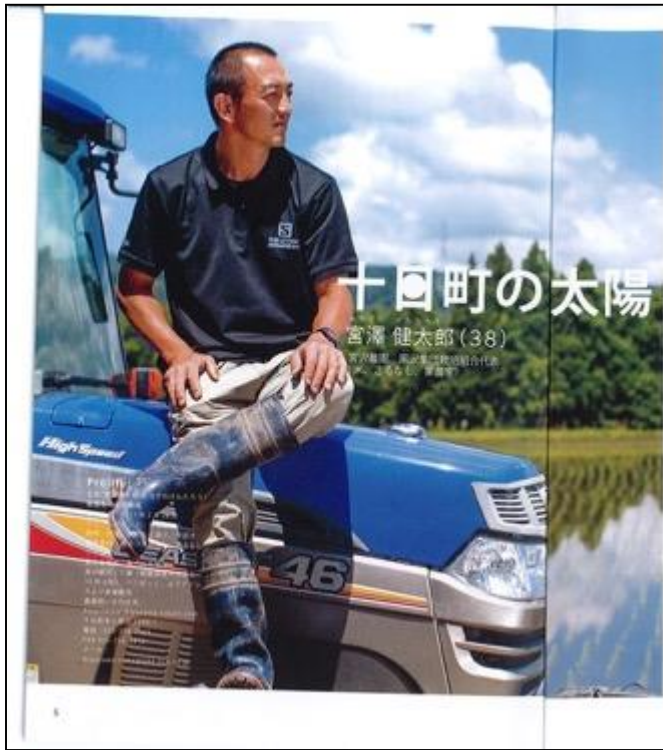


地域の底あげが、自分たちの利益を高めしてくれる





# 農業 × 編集「農家のアイドル本ギフトブック」づくり



## 十日町の太陽

宮澤 健太郎 (38)

宮澤 健太郎 宮澤 健太郎 宮澤 健太郎



農家が  
ほんとうに  
いるところ

十日町の津南には、こんなにもまぶしく、  
農業を働く農家がたくさんいる。

十日町の津南には、こんなにもまぶしく、  
農業を働く農家がたくさんいる。



「塩豚」  
● 塩豚は、塩を  
● 塩豚は、塩を  
● 塩豚は、塩を

塩豚は、塩を  
塩豚は、塩を  
塩豚は、塩を



美しき  
養豚家  
佐藤 真砂子 (30)

佐藤 真砂子 (30)  
美しき養豚家



Profile:  
佐藤 真砂子 (30) 佐藤 真砂子  
佐藤 真砂子 (30) 佐藤 真砂子

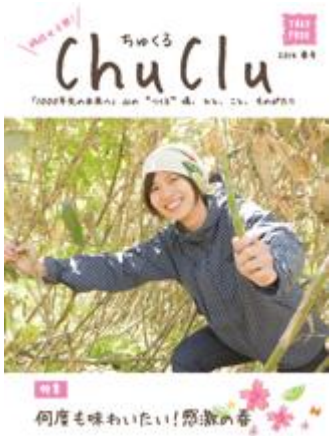
# 農業 × 建築「田んぼのなかに、教室をつくる」



農業×ウェディング、などなど。



studio HATOYA

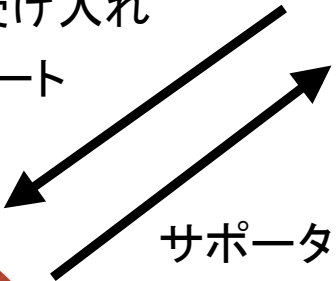


新規就農者や  
移住女子の受け皿

若手  
グループ、  
NORAGI

農村

情報、  
インターン受け入れ  
移住サポート




サポーター  
通い  
移住

未来の  
移住女子や  
サポーター



途切れのないレールで  
不安を取り除く



いつもそこにいる  
移住女子

移住女子はリーダーというより、触媒になれる子たち



くらしの中で、さまざまな人、ものを繋げたり  
サポートしたりして、  
小さな化学反応を生んでゆく。



課題意識型あるいは、それによる承認欲求型

人生の変化の節目ごとに、  
なにが自分にとって一番大切かに  
向き合い続けてきているから、  
フットワークも軽く変化に柔軟



ふつうに暮らしたい子



①実は知りたいのは「地域の魅力」でも「地方の企業」でも「移住支援」でもなく、生き方・暮らし方のパターン数

いままで「何(職業)になりたいのか」問われ続けてきた。

当たり前のように、就活が始まり、「どの企業に入りたいか」を問われるけれど、どう暮らしたいか、どうありたいか、生き方のフィルターをかけて考えたことがなかったし、そういう選択肢を知らなかった。



だから・・・

②観光地、職場、食も大事だけど、いかにその道の先輩に合わせるか  
(大学のオープンキャンパスと同じ)



鍵は10代後半～20代前半の女性(学生～就職したて)の  
「自分にフィットした暮らしをしたい」欲と、それに伴うフットワークを  
いかに後押しできるか

### 起業学習・支援(学校教育から)

仕事や事業を創造できる、  
あるいは小さくてもビジネスができる人材づくりを  
目的にした学びの機会が、小中高大学とない。  
仕事のつくりかた、起業などの学習機会を教育  
として(NPO・社会起業という選択肢含む)

多様な時代だからこそ。  
大学と、地方行政の窓口  
に「超個別対応」「ひとをつなぐ窓口」を

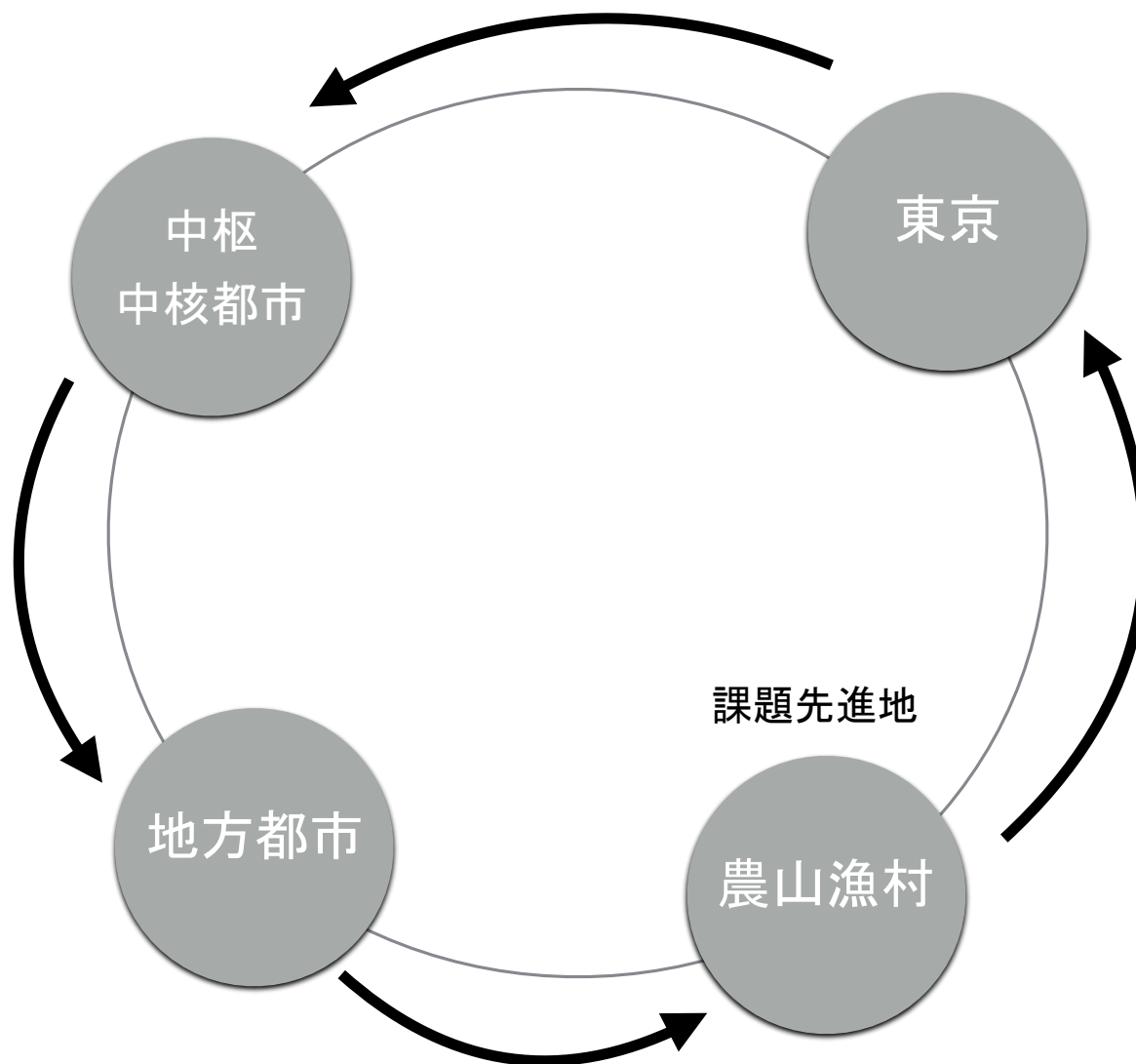
多様に対応できるネットワークと双方の連携。  
且つ先輩移住者ネットワークの受け皿。

### 移動コストを限りなく低く

移動コストをクリアし日本中飛び回れるように

仕事から入らない。  
くらしから入る。  
★1人に対してたくさんの  
コミュニティが関与していること

例: Iターン留学イナカレッジ



**地域おこし協力隊はハードルが高く、自分の夢を叶えられないが、もう少しハードルの低いものがない**

■ふつうに暮らしたい子(「こうあるべき」の選択ではなく、変化が許され、自分が大切にしたいものを貫ける等身大の暮らし、という意味の「ふつう」)の、ルールづくり

- ・信念や責任感で動く男性と違い、自分のやりたいことを重視
- ・だから、度胸があるので、少しの支援があれば自力でなんとかする人たち

■地方から地方へ、のルールはない

そして、移住・農業、移住女子やちゃーはんの活動から見てきたこと1



年齢、職業、居住地、働き方の壁をなくして、どんどん取り込む

そして、移住・農業、移住女子やちゃーはんの活動から見えてきたこと2



腰をすえて、ひとを育てる

そして、移住・農業、移住女子やチャーはんの活動から見てきたこと3

等身大で自分の人生を生きる女の子たちを信じて、  
思いっきり夢を追いかけてあげてほしい。

そのとき助けてもらった感謝の気持ちが「地域のために」になる。



「～だからできない」から、「強みを生かす」へ